

各 位

社会福祉法人 梅香会
法 人 本 部 事 務 局

ベトナム国ハノイ現地での「第2回介護技術講義研修会」の実施について

社会福祉法人梅香会(理事長 重城明男 金田クリニック重城院長 木更津市)では、昨今の日本国内における喫緊の課題でもある「介護職員不足」の対策として、有能な外国人介護人材の掘り起こしや、そのマッチングを行うため、ベトナム国ハノイの介護人材等送り出し機関「MPK 国際(株)」と昨年、社会福祉法人梅香会とで「介護技術支援等に係る業務協力覚書」を締結し、本年もその覚書に基づき、令和7年11月13日から令和7年11月14日の間、「第2回介護技術講義研修会」をハノイ現地にて実施したところである。

社会福祉法人梅香会では、「外国人技能実習生を単なる労働者として受け入れる形ではなく、「介護人材還流」を柱とする「梅香会外国人介護人材スキーム計画」により、

- ① 梅香会の役職員がベトナム現地へ直接赴き、「日本式介護技術」の教育を行う。
- ② ベトナム現地で教育を受けた技能実習生が「梅香会の特別養護老人ホーム施設(矢那梅の香園、いわね潮の香園)」で3～5年間就業し、実際の介護現場での経験値やその技能習得を図る。
- ③ 技能実習生がベトナム帰国後、梅香会で得た経験等をその指導者的立場においてベトナム現地の後進指導にあたる。

等の計画により、昨年に引き続き同研修会を上記日程で実施し、研修会には梅香会矢那梅の香園職員3名が参加し、計2日間、介護技術習得等に係る実技指導を行った。

今回の研修会では受講する学生達に事前アンケートを取るなど、より中身の濃い研修内容となっており、この日を待ちわびた学生たちは、次々に講師に対しての質問を投げかけるなど、充実した2日間の研修であった。また、今回の研修会に参加した、「チュオン・ティ・アン」さんは、来年3月頃日本に入国し、その後、梅香会において就業の予定となっている。

梅香会では今後も現地での研修会を実施していく予定であり、「梅香会外国人介護

人材スキーム計画」により、外国人の方々や当法人においても有益な「介護人材還流」について今後も積極的に進め、さらには当梅香会もその構成メンバーとなっている、「かずさ医療福祉人材育成機構」等の各事業所皆様にも今回の情報について共有し、海外の介護人材を必要としている事業所皆様への情報の共有にも努めていきたいと考えているところである。

以上

ベトナムハノイ MPK 国際(株)での「第2回介護技術講義研修会」の様子
(令和7年11月13日～令和7年11月14日)
ベトナムハノイ「MPK 国際(株)」現地にて





ベトナムハノイの「MPK 国際(株)」の学生達は、この日を待ちわびていた様子であり、次々に講師に対しての質問を投げかけるなど、充実した2日間の研修となった。

いずれの写真も「矢那梅の香園」職員による介護技術講義等の様子